

2019年3月24日(日)朝10:10～  
3月第4共同主日礼拝式説教

主の復活前第4、役員会等  
日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：主の祈り

聖書：マタイ 6章9～15節

＜口語訳＞

新約聖書8～9頁

マタイ 6章9～15節

＜新共同訳＞

新約聖書9～10頁

マタイ 6章9～15節

＜新改訳第3版＞

新約聖書9～10頁

マタイ 6章9～15節＜塚本訳＞

新約聖書81～ 頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き  
によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓あるいは説教と表現される箇所です。

◇本日は、**マタイ6章9～15節**も、**マタイ5章**の続きで、**神の御子イエス・キリスト様**を祝福のことば全体の中で理解したいとの思いで、「**施し**」(6:1～4)、「**祈り**」(5～6)、「**断食**」(16～18)のユダヤ人の3大善行)を見たが、次は、「**祈り**」で、①「**隠れた所での父なる神への祈り**」(6:6)と②「**主の祈り**」に注目しました。

⇒「**神の幸い・祝福**」、「**迫害の中の神信仰**」に続く「**天の父の心の目**」に「**神の御子イエス・キリスト様**」は、注目しておられるのです。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、ユダヤ人の善行の背後にある「**偽善**」を見抜いておられます。「**施し**」(6:1～4)同様、「**祈り**」(5～6)も、「**隠れた所での祈り・主の祈り・弟子の祈り**」が大事なことばになっています。

本論；

◇本日、マタイ書6章9～15節から主の使信に  
思い・心をとめます。

◆マタイ6章9～15節；使徒マタイは、神の  
御子イエス・キリスト様の「隠れた所での祈  
り・主の祈り・弟子の祈りを隠れた所におら  
れる父なる神にする」のことばを語られます。

◇5～15節；塚本訳◆祈りについて；主の祈り  
「9 だからあなた達は、このように祈りなさい。—  
わたしたちの天のお父様、お名前がきよまり  
ますように。

10 お国が来ますように。お心が行われます  
ように、天と同じに、地の上でも。

11 その日の食べ物をきょうも、わたしたちに  
戴かせてください。

12 罪を赦してください、わたしたちも罪を犯した  
人を赦しましたから。

13 わたしたちを試みにあわせないで、悪から  
守ってください。

14 (祈る前に、まず人の罪を許さねばなら  
ない。)あなた達が人の過ちを赦してやれば、  
天の父上もあなた達を赦してくださるが、

15 人を赦さないならば、父上もあなた達の過ちを赦してくださらないであろう。」と、使徒マタイは語っています。

◇7～8節；「また祈るとき、異教人のようにベラベラしゃべるな。彼らは口数が多ければ、聞いてもらえるものと思っている」(7)、「彼らの真似をしてはならない。神はあなた達の父上である。求める前から、あなた達に必要なものをよく御承知である」(8)と、先週、「神の信頼」と「神への呼びかけ」が、大事なことで、「求める前から、あなた達に必要なものをよく御承知である主」への祈りが、求められていることを確認しました。

◇9～13節；毎主日一緒に祈っている暗誦している「主の祈り」を見ることができます。

◆「わたしたちの天のお父様、お名前がきよまりますように」(9)、「お国が来ますように」(10)、「お心が行われますように、天と同じに、地の上でも」(10)が、「神の聖なる名」、「王なる神の支配」、「神の意志」と、人間の意志よりも「神を崇め」、「神に服します」を示しています。

⇒「御子イエス・キリスト様」が、弟子たちに祈りを教えて下さった時、人間の罪を問われます。

◆「その日の食べ物をきょうも、わたしたちに戴かせてください」、「罪を赦してください、わたしたちも罪を犯した人を赦しましたから」、「わたしたちを試みにあわせないで、悪から守ってください」の3つの祈りは、「自分の必要と弱さ」が語られています。

⇒「求める前から、あなた達に必要なものをよく御承知である」(8)とありますが、「その日の食べ物をきょうも」と、「日1日の必要」を求める、「自分の弱さ」の自覚が、求められています。

⇒「罪を赦してください、わたしたちも罪を犯した人を赦しましたから」は、「わたしたちも罪を犯した人を赦しました」が、大事で、「神に自分の弱さと悲しみを支えていただく」ことが、問われています。

⇒「わたしたちを試みにあわせないで、悪から守ってください」では、「試みにあわせないで、悪から守って」とは、「人を何とかして罪に引きずり込もうとする者」で、「サタン」が、現実の誘惑者です。「サタン」には、人間の力では対抗できません。「私の罪」が、問われ、「自分の罪深さ、弱さ」が、主の救い、助けを求めさせます。

◇14～15節;「(祈る前に、まず人の罪を許さねばならない。)あなた達が人の過ちを赦してやれば、天の父上もあなた達を赦してくださる」、「人を赦さないならば、父上もあなた達の過ちを赦してくださらない」、「御子イエス・キリスト様」は、「罪の赦し」をもたらして下さるのです。  
⇒「弟子の祈り・主の祈り」は、礼拝の中での呪文ではなく、「神に自分の罪深さと弱さ」を知っていただき、「罪の赦しと救い」を求める祈りです。

## 結論；

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓**あるいは**説教**と表現される箇所です。
- ◇本日は、**マタイ6章9～15節**も、**マタイ5章**の続きで、**神の御子イエス・キリスト様**を祝福のことば全体の中で理解したいとの思いで、「**施し**」(6:1～4)、「**祈り**」(5～6)、「**断食**」(16～18)のユダヤ人の3大善行)を見たが、次は、「**祈り**」で、①「**隠れた所での父なる神への祈り**」(6:6)と②「**主の祈り**」に注目しました。
- ⇒「**神の幸い・祝福**」、「**迫害の中の神信仰**」に続く「**天の父の心の目**」に「**神の御子イエス・キリスト様**」は、注目しておられるのです。
- ⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、ユダヤ人の善行の背後にある「**偽善**」を見抜いておられます。「**祈り**」(5～6)も、「**隠れた所での祈り・主の祈り・弟子の祈り**」が大事なことばです。

⇒「**主の祈り**」も、**御子イエス・キリスト様**の弟子として、「あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ」、「だから、こう祈りなさい」(9)と、**御子イエス・キリスト様**が教えて下さったものです。

⇒先週同様、焦点を絞って、人の目色を見ず、神を相手の人生を生きよ、とういことなのです。

⇒ヨハネ福音書6:28 すると、彼らはイエスに言った。『神のわざを行うためには、何をすべきでしょうか。』

29 イエスは答えられた。『神が遣わした者をあなたがたが信じること、それが神のわざです。』